

# 一番町ロビー 2018 7月のご案内

## 1F GALLERY

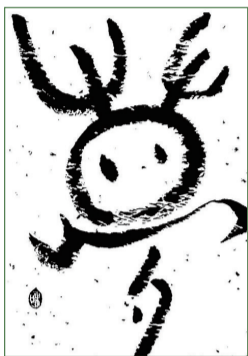
開館時間/10:00~19:00(最終日は18:00まで)  
休館日/木曜日 ※入場/無料

6月29日(金)~7月4日(水)

### シニア・ファム グループ展「放課後Ⅲ」 ~絵画・フラワーアレンジメント・書・写真~

シニア・ファム(大出 芳子、佐々木 弘子、宮内 和子、鈴木 美津子)

宮城学院女子大学日本文学卒業の同期生4人で、「人生の放課後」をイメージしたやさやかな作品展を定期的に開催しています。今回は古希を記念して「語り合える友人と自分の夢を持つことが人生を楽しむ秘訣」をテーマに「放課後Ⅲ」を開催します。ぜひ、団塊の世代を遅く生き抜いてきた元淑女(?)たちの思いを少しでも作品からくみ取っていただき、ご笑覧いただけたら幸いです。



7月6日(金)~7月11日(水)

### 美しい★もの・・・未来へ

アトリエ・レーコ・テキスタイル 関レーコ

旅の思い出、季節、自然、人から受ける印象を、染色や羊毛縮絨、描画、それらの融合などさまざまな手法での表現を追究してきた軌跡を振り返り、過去、現在、未来へとつなげる作品展です。真の美しさとはどこから生まれるのか?永遠のテーマをテキスタイル世界で挑戦するアトリエ・レーコ・テキスタイル関レーコの世界をお楽しみください。期間中、ワークショップも開催します。

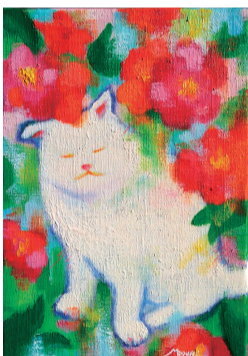


7月13日(金)~7月18日(水)

### 第3回 バナナをむいて魅せます展

ばなな絵画教室・NHK文化センター日曜アトリエ・クローバー学園油絵教室

「ばなな絵画教室」、「NHK文化センター日曜アトリエ」、「クローバー学園油絵教室」の3つの教室生徒による油絵の合同発表展です。一人ひとり個性豊かな作品が生まれました。ぜひ会場に足をお運びいただき、お楽しみください。



7月20日(金)~7月25日(水)

### 第11回 IZUMI&若林木の会 木版画展

IZUMI木版画会・若林木の会

NHK文化センター仙台教室「木版画入門教室」及び「若林木の会」で木版画の面白さ、楽しさを学ぶ仲間の第11回目の展示会です。皆さまのご来場、ご高覧をお待ちしております。



7月27日(金)~8月1日(水)

### 宮城県指定無形文化財 栗駒の正藍染展

仙台藍染研究会(会長:庄子 晃子 東北工業大学名誉教授)

自給生活が続いていた頃の染織文化を今に伝える栗駒の正藍染。宮城県栗原市栗駒町の千葉あやの、よしの、まつ江と三代にわたり伝承されてきました。日本最古の染色技法を守り続ける千葉まつ江さんの仕事を紹介し、染め上がったばかりの藍染作品を展示します。千葉まつ江さんは、2017年秋の叙勲で旭日双光章を授与されました。



## 2F HALL

2F ホールのご案内

開館時間/10:00~19:00 休館日/日曜日・祝日・木曜日

2F ホールイベントのご案内

入場/無料(ご予約は不要です) 定員/120名

市民公開講座 サンモール一番町商店街振興組合の協賛で行っております。

まちなか美術講座 宮城県美術館の学芸員が美術作品の魅力についてお話しします。

市民公開講座 No.433 7月6日(金) 18:00~19:30

### 近年の地震による土砂(斜面)災害の特徴

千葉 則行(東北工業大学 都市マネジメント学科 教授)

宮城県内で、最近発生したトピック的な自然災害、例えば2011年東北地方太平洋沖地震、2008年岩手・宮城内陸地震、2003年宮城連続地震などで、地すべりやがけ崩れなどの斜面変動が多発しました。本講座ではこれらの斜面災害の調査成果や研究成果を学び、身近な生活環境のなかでの防災・減災について考えます。

市民公開講座 No.434 7月13日(金) 18:00~19:30

### 橋の材料と構造を観る

山田 真幸(東北工業大学 都市マネジメント学科 准教授)

橋は身近な土木構造物ですが、橋には求められる機能・性能があり、その形に人々の知恵や工夫が込められています。私の所属する都市マネジメント学科で扱う土木工学では、橋梁は長い歴史を持つ研究対象の1つです。本講座では工学の視点から、大学的な内容で橋の材料や構造の話、加えて取巻く現状や課題を扱う予定です。

<まちなか美術講座>

宮城県美術館のスタッフによる「まちなか美術講座」。

2018年度は美術館の所蔵する作品の中から代表的な作品を選んでお話しいたします。

まちなか美術講座(第55回)

7月21日(土) 13:30~15:00

### 海老原 喜之助(ポアソニエール)

濱崎 礼二(宮城県美術館 学芸員)

海老原 喜之助《ポアソニエール》1935年、麻布、油彩



市民公開講座 No.435 7月27日(金) 18:00~19:30

### 環境共生型汚水処理システムとしての人工湿地について

矢野 篤男(東北工業大学 客員研究員)

中山 正与(東北工業大学 都市マネジメント学科 教授)

人工湿地は自然湿地の浄化能力を利用し、工学的に浄化効率を高めた排水処理技術で、低コスト・省エネルギーの新しい排水処理技術として世界中で使われています。わが国においても近年、人工湿地の設置例も増えてきましたが、まだまだ人工湿地を知る人は少ないです。今回、人工湿地の解説と国内外の適用事例について紹介します。

東北工業大学では、市民の皆さまとのふれあいの場として、一番町にロビーを開設しております。  
お気軽にお越しください。(入場無料)

東北工業大学 一番町ロビー Tel 022-723-0538

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1(TMビル) Fax 022-263-8606 E-mail/lobby@tohtech.ac.jp http://www.tohtech.ac.jp/



東北工業大学 一番町ロビー